

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年10月1日～10月 9日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	12人	0人	1人	14人

前回の改善計画

- 送迎時や訪問の際など、家族と積極的に関わりを持つようにし良好な関係構築に取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 送迎時や訪問の際などに、意識してコミュニケーション (何気ない会話や利用の際の様子など) を図ることで、良好な関係を構築することができた。今後も継続することで、ニーズや情報を引き出すことが期待できるため継続していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	9	1		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	3		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	9	2		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	4	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 初期支援では、コミュニケーションの回数を多く持ち、安心感をもってサービスを利用してもらえようという関わりを意識している。家族へも同様に意識して関わることで、話しやすい雰囲気作り心掛けていく。職員が仲介し他利用者へ紹介することで円滑な関係作りに配慮できている。
- 事前アセスメントや関係機関からの情報を、事前の申し送り及び書類の回覧等で共有できている。
- 研修を通じてアセスメントの重要性を再確認したことで、より積極的に関わることができている。
- 介護支援専門員以外でも、担当職員がアセスメントの段階から関わる機会が増えたことで、早い段階から関わる事ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 家族の思い、不安を受け止めるだけで、支援までには至っていないように感じる。
- 家族とコミュニケーションは図れているが、思いを聞き出せているか、受け止められているかはわからない。
- 支援はできているが、それが本人や家族が本当に必要としているものかはわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 事前の情報で満足することなく、利用者や家族の思いを引き出すような関わりを意識して行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年10月1日～10月 9日

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤（14名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	9人	5人	0人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ミーティング等の場において、職種に関係なく積極的に意見交換することで、利用者本人の意向や目標（ゴール）を把握し、目標（ゴール）を意識した関りができるように取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ミーティング等での意見交換はまだ少ないものの、目標をライフサポートプランの他、ライフサポートプラン記録用紙にも記載し、普段から目に入るようにしたことで、意識したか関りが以前よりも増えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	11	2		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	10	3		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		7	6	1	14
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		5	7	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ライフサポートプラン及び記録用紙に目標を記載しており、普段から目に触れる機会が増えたことで意識した関りを実践できるようになってきている。 目標達成のための日々の関わりができるようになってきている。 ミーティングで情報共有し概ね対応できていた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 実践した内容をミーティングで話すことはあまりなかったし、発言も不十分であった。 利用者全員の目標は把握しやすくなったが、実際関われていることが少なく感じる。 目標達成に捉われすぎて、本人の思いを忘れてしまいがちであった。 本人の目標をしっかりと理解できず、把握しきれていなかった。 家族、本人どちらの目標なのかかわからないことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 目標をライフサポートプラン及び記録用紙等に記載するなど、確認し実践しやすい環境を整備する。また、普段の会話から本当にしたいことを気付けるように意識し、本人の本意をうかがえるように心がける。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年10月1日～10月 9日

3. 日常生活の支援

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	3人	2人	14人

前回の改善計画	・担当職員は今ある情報と不足している情報を整理し、日々の関わりの中で不足している情報（以前の暮らし方）収集を意識して行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・漠然と全体を把握するのではなく、担当利用者の情報を整理することに特化したことで、概ね情報を得ることができた。情報が満足ではないため、継続して意識した取組みが必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	8	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	7		1	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	3	9	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	7	3		14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	8	2	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> カンファレンスやアセスメントの見直しの機会を活用して、情報を整理することができている。 本人の変化や日々の様子については、ライフサポートプラン記録用紙に都度、記載することで共有することができている。 それぞれ基本となる支援があるが、その時々々の体調、状態に応じて柔軟に対応できている。 本人に変化があった際には、その時々の職員間で情報を共有し、対応を検討して即時的に支援できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 担当利用者以外の「以前の暮らし方」について、深く理解ができていない。 「以前の暮らし方」について概ね理解できているが、不足している情報収集まで至っていない。 本人の気持ち、変化に気付くことはできているが、チームで支援するという意識が薄い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 担当職員は今ある情報と不足している情報を整理し、日々の関わりの中で不足している情報を収集すると共に、「以前の暮らし方」を最低10個意識して収集を行う。基本となる情報を共有した上で、本人の声にならない声の理解へつなげ、今よりも一歩踏み込んだ対応へつなげる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年10月1日～10月 9日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	6人	2人	14人

前回の改善計画
 ・担当職員は今ある情報と不足している情報を整理し、日々の関わりの中で不足している情報（地域との関係）収集を意識して行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・利用者や家族とのやり取りの中で、意識して情報収集を行っていたが、新型コロナウイルスの関係で積極的な支援には繋がれず、必要最低限に留まってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	5	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	9	1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	9	3	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	8	5	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・自宅での過ごし方について、送迎時等に本人や家族から情報を得るよう関わりを持ち、得た情報を記録することで、職員間で共有できるようにした。
 ・モニタリングやカンファレンスにて確認することができている。
 ・元々、地域との関わりを持っている利用者については、家族が対応できない部分を補う形で対応できた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・本人と家族の関係が良好になるような働きかけまでには至っていない。
 ・新型コロナウイルスの影響により、積極的な支援ができなかった。
 ・地域資源の活用は、病院や理容院など必要最低限の物に限定されてしまっている。
 ・地域の資源の把握に至っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・地域資源・社会資源とは何かの理解を深める。担当職員は今ある情報と不足している情報を整理し、日々の関わりの中で不足している情報を収集した上で、今よりも一歩踏み込んだ対応へつなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年10月1日～10月 9日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	8人	4人	2人	14人

前回の改善計画
 ・利用者・家族の意向を確認した上で職員間で意見交換し、地域の資源を活用してその人らしい生活を継続することができるように取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・以前よりも意識が高まり、利用者・家族の意向を確認し、ミーティング等で意見交換を行ったものの、必要最低限の支援に留まっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		6	5	3	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	5	1	2	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	9	1		14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	8	2		14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・利用者、家族の状態について、変化があれば申し送りや記録等でチームとして共有し、ミーティングを行うことで柔軟にサービスの提供ができている。
 ・必要時、かかりつけ医や、地域包括支援センターとも連携を図り、地域の資源を活用しながら支援できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・新型コロナウイルスの影響により、地域の資源への活用や柔軟な対応が制限されることが多くあった。
 ・地域の社会資源の活用は、必要最低限の限られたものとなっており、もう一歩先の対応に結び付けることができていない(従来の生活スタイルから、必ずしも積極的に社会資源とつながる必要のないケースもある)。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・利用者・家族の意向を確認し、職員間で意見交換する。その中で、本当に必要な地域の資源の情報を整理した上で活用することで、柔軟でその人らしい生活を継続することができるように取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年10月1日～10月 9日

6. 連携・協働

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	4人	4人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人一人が地域の活動や交流への関心を高め、それぞれが意識して地域交流を実践していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響もあり、地域交流を実践する機会を失ったこともあるが、自ら進んでという意識が全体的に乏しく、受け身の姿勢であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3	4	6	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	2	2	8	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		3	4	7	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		3	4	7	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響もあり、例年通りにはいかなかったものの、高校生の訪問や、中学生の奉仕活動等、可能な限り受け入れることができた。 運営推進会議に順番に参加することで、市役所職員、地域包括支援センター職員、町内会会長、地区民生委員、地区住民代表の方々と意見交換を図る機会を得られている。 町内の自主防災訓練に参加することで交流を図り、有事の際の町内の動きを確認することができた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響もあり、地域の活動やイベントの多くが中止となったことで、参加する機会を失った。 サービス機関との会議にケアマネと担当が参加することとしているが、スケジュールの関係等により十分な参加には至っていない。 地域住民の来所が少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 職員一人一人が地域の活動や交流への関心を高め、受け身にならずにそれぞれが意識して地域交流を実践していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年10月1日～10月 9日

7. 運営

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	6人	4人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動を理解した上で、事業所主導で地域との協働した取組みを検討し、地域における事業所の存在価値を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響もあり、地域と協働した取組みを行うことができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	5	4	4	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10		2	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	3	2	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	8	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 会議の場で意見を言うことができている。 半期ごとに意見を出し合い、業務の見直しができている。 利用者、家族からの意見・苦情に対しては早急にミーティング等で話し合い、検討することで対応できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 事業所のあり方については、上司が決めることだと思っていた。 日々の業務に追われ、そこまで考えが及んでいない。 地域の方との関りの殆どが、運営推進会議のメンバーに限定されている。 運営推進会議で意見交換を行い、意見を吸い上げているが、協働した取組みを実施するまでに至っていない。また、新型コロナウイルスの影響もあり、取組みに対して消極的であった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域との協働した取組みについて職員間で検討する。また、運営推進会議の場などで提案し実現することで、地域における事業所の存在価値を高める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年10月1日～10月 9日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	3人	3人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域で開催される会議へ積極的に参加していく。職務上必要な研修については計画的に参加する。資格取得やスキルアップにつながる研修については、個人的に積極的に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響もあり、外部研修の参加については、最低限の参加となった。資格取得やスキルアップ研修についても、新型コロナウイルスの影響を強く受けた形となった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	9	2	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	2	7	14
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	10	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	2	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響もあり、数は少なかったものの、園外研修に参加し、参加後も復命報告等で周知することで、職員全体のスキルアップにつなげることができている。 介護支援専門員や介護福祉士等の資格取得に向けて、取り組むことでスキルアップを図る職員もいる。 ヒヤリハット、インシデント報告を会議や記録を通して把握し、今後の対応を検討することができている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響もあり、地域連絡会に参加できていない。 リスクマネジメントの取り組みはできているが、対応が不十分で未熟な部分がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域で開催される会議の情報を収集し、積極的に参加していく。 職務上必要な研修について情報を収集し、積極的に参加することで自らのスキルアップを図り(インプット)、職場に還元(アウトプット)することで、全体のスキルアップを図る。 資格取得やスキルアップにつながる研修については、個人的に積極的に参加する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年10月1日～10月 9日

9. 人権・プライバシー

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	9人	0人	0人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー、特に羞恥心について、必要に応じて職員同士で声掛けし合う等、配慮した声掛け、対応に十分に気を付ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に開催している身体拘束撤廃委員会において、事業所の方針や適切なケア、不適切ケアを確認できた。職員それぞれに言葉遣いやプライバシー、羞恥心を意識しながらの対応に努めたが、完璧にとはいかず引き続き職員間で意識して取り組む必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	2		1	14
②	虐待は行われていない	10	3		1	14
③	プライバシーが守られている	4	7	2	1	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	2	10	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	10		1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月毎の身体拘束撤廃委員会及び研修において、身体拘束に関して事業所の方針を全職員で統一し、適切なケア、不適切なケアについて学び確認する。機会を設けている。 ・身体拘束、虐待は行われていない。利用者それぞれにあった言葉遣いを意識している。 ・入浴時は利用者の方に合わせて時間をずらしたり、カーテンで仕切る等、プライバシーに配慮できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で口頭で情報を共有する際に、利用者が近くにいることもあり、場所の配慮に欠ける場面もある。 ・成年後見制度を活用している人がいないこともあるが、全体的に学ぼうとする意識が低い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー、羞恥心についてはもちろん、言葉遣い、言葉掛けが適切であるかどうかを随時、職員同士で確認し、対応について十分に気を付ける。 	